

予算編成の基本的な考え方

本県は、全国と比較しても、人口減少や少子・高齢化が急速に進んでおり、その対策は大きな課題となっています。

平成27年度当初予算は、チャレンジプランに沿った新たな県づくりを本格的にスタートする予算とし、国の経済対策も積極的に活用し、政策課題に的確に対応した編成を行いました。

1 活力みなぎる県づくりへの挑戦

(1) チャレンジプランの具現化に向けた取組の推進

プランに基づく取組のうち、特に優先的・重点的に実施すべき新たな取組に集中的な予算配分を行い、実効性の高い事業を構築しました。

全国トップ
水準への挑戦

▼「結婚から子育て支援日本一」の実現

▼「農林水産業担い手支援日本一」の実現

▼「首都圏等情報発信・売込強化日本一」の実現

▼「産業力強化・創業支援日本一」の実現

▼「移住・定着日本一」の実現

▼「地域教育力日本一」の実現

(2) 県づくりの推進と財政健全化の両立

プランの着実な推進に必要な不可欠な、持続可能な財政構造の確立に向けて、「一般分の県債残高の縮減」と「財源調整用基金残高の確保」を目標に、財政健全化に向けた取組を進めました。

2 国の地方創生の取組等との一体的な編成

国の経済対策に係る「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用し、これに係る平成26年度2月補正予算と平成27年度当初予算を一体的に編成することにより、地方創生の先行的な取組等を積極的に実施します。